

摂食嚥下障害リハビリテーション治療学演習

[演習] 第1・2学年 後期 選択 2単位

【担当者名】飯田貴俊(tiida@hoku-iryo-u.ac.jp), 飯泉智子

【概要】

摂食嚥下障害のリハビリテーションを実施するための検査法、検査解析法、治療法を実践するための実技的方法を学ぶ。

【学修目標】

1. 摂食嚥下障害のスクリーニング検査法を行える。
2. 摂食嚥下障害の専門的検査法（嚥下造影検査・嚥下内視鏡検査）の解析を行える。
3. 摂食嚥下障害の治療法を行える。

【学修内容】

回	テーマ	授業内容および学修課題	担当者
1	オリエンテーション	演習の概要、スケジュール、演習方法について説明する。	飯田貴俊、飯泉智子
2) 3	スクリーニング検査法	種々のスクリーニング検査の演習を行い、特論で学んだ感度と特異度をふまえ評価を行う。	飯田貴俊、飯泉智子
4) 14	嚥下造影検査、嚥下内視鏡検査	摂食嚥下障害を有する症例の嚥下造影検査、嚥下内視鏡検査を見学し、その映像を解析する。解析結果から介入法を立案しレポートを提出し、プレゼンテーションを行う。	飯田貴俊、飯泉智子
15	まとめ	提出されたレポートに関するディスカッションを行う。	飯田貴俊、飯泉智子

【授業実施形態】

面接授業と遠隔授業の併用

授業実施形態は、各学部（研究科）、学校の授業実施方針による

【評価方法】

レポートおよびプレゼンテーション 80%、ディスカッション 20%

【教科書】

指定しない。

【参考書】

才藤栄一、植田耕一郎 監修：摂食嚥下リハビリテーション 第3版 医歯薬出版、2016

【学修の準備】

1. 関連する文献、参考書を読み予習しておくこと（80分）。
2. 配布プリント、参考書で復習し理解を深めること（80分）。

【実務経験】

歯科医師、言語聴覚士